

区民提案制度により

ベンチプロジェクトが始まります!!

高齢者等の外出および移動支援を目的に、まちなかにベンチを置く「ベンチプロジェクト」が始動しました!!

ベンチプロジェクトでは、「いつまでも自分の足で歩ける、出かけやすいまち」、「つながりのあるまち」を目指し、地域のみなさんと一緒に取り組みます。

4つのプロジェクトに 地域のみなさんと取り組みます!!

ベンチづくり プロジェクト

地域のみなさんと一緒に
ベンチをつくります。



ベンチ協賛 プロジェクト

企業と連携して取り組みます。

ベンチ設置 プロジェクト

地域の「あったらいいな」を
実現します。



ベンチ改修 プロジェクト

老朽化したベンチの
改修に取り組みます。

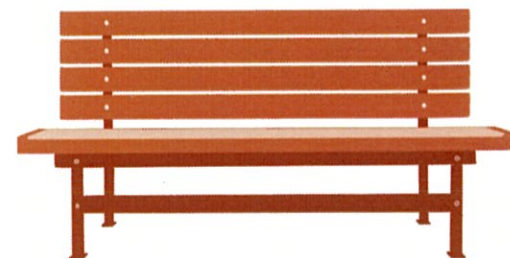
SDGs未来都市としま



豊島区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

区民提案

としまベンチ プロジェクト



豊島区

知ってほしい！ ベンチの主な4つの効用

1 歩行距離UP

ベンチは身体を休ませること以上に、まちの中で立ち止まり、過ごし、思考する時間を与えることで、人々の次の行動に大きく影響します。何よりもベンチで休むことで人々はより長い距離を歩くことができます。

2 滞在時間UP

ベンチは無料でそこに居ることができる最小のインフラです。ベンチがあることで、人々のまちにおける滞在時間がより長くなります。人がまちに居る時間が長くなることは、様々な二次的効果へとつながります。

3 経済効果UP

まちに居る時間が長くなること、行動範囲が広がることは、まちにおける消費へとつながります。よりお金が落ちていくということは、より人の賑わいがそこに生まれ、人をさらに呼び込むこととなります。

4 幸福感UP

まちに滞在する時間が増えるということは、人と人が出会う確率が高くなり、人々の会話量が増えます。コミュニケーションの増加は、人々の健康状態、そして幸福度を向上させていきます。



【参考】TOKYO BENCH PROJECT

ベンチづくりで目指すまち



1 出かけたくなるまち

休む場所があることで、まちに人が増え、自然とコミュニケーションも広がります。さらに、地域の防犯や見守りなどの効果も期待できます。

いつまでも 自分の足で歩けるまち

長い道のりを歩くのが困難な高齢者なども、ベンチで休むことができると、自分の足で歩ける範囲が広がります。高齢者だけでなく、ベビーカーをおす子育て世代など、みんなに優しいまちになります。

3 つながりのあるまち

地域の住民や関係機関、お店、企業、行政等が協力してベンチを設置することで、つながりが深まり、誰もが住みやすいまちになります。



ベンチに関する情報を募集します

スーパーに行くまでの道にベンチがあるといいのになあ。

古くなったベンチがある、直せば使えそうだ。

こんな情報を募集しています。些細な情報でも結構ですので、下記連絡先へお気軽にご連絡ください。

ベンチ協力隊を募集します

ベンチ協力隊ってなあに？

ベンチ協力隊とは、ベンチに関する情報収集や、設置場所の提供、ベンチの管理など、ベンチプロジェクトを区と一緒に取り組む有志のことです。

あなたもベンチ協力隊の一員として、いつまでもイキイキと生活ができるまちづくりに参加しませんか。



お気軽にご連絡ください♪

豊島区 福祉部 高齢者福祉課
生活支援体制整備グループ

電話 : 03-4566-2435

FAX : 03-3980-5040

Mail : A0029294@city.toshima.lg.jp